



千屋小学校だより

令和5年 8月号

学校教育ビジョン

「子どもは家庭で愛され、学校で学び、地域で育つ」

千屋小学校ホームページは「新見市立千屋小学校」で検索するとご覧になることができます。

2学期がはじまりました！



長い夏休みが終わりました。夏休みには、学校でのサマースクールや水泳教室、PTAプール開放、市水泳記録会や児童会代表の集い、地域でのお祭りやそれぞれの家庭での行事など、普段できない経験や体験をすることができ、子ども達はそれぞれに成長したことと思います。

8月28日(月)からは2学期が始まりました。2学期には、宿泊研修や修学旅行、陸上記録会、稲刈り、音楽会、きらきら発表会など、他の学校や地域の方々と様々な交流をする機会がたくさんあります。千屋小学校の良さやがんばりを知らせたり、逆に他の小学校の良さを学んだりすることができます。多くの人達と関わり、自分を磨き、ダイヤモンドのように光り輝いてほしいです。また、みんなで様々なことを協力して行い、共に輝いてほしいと思っています。

どうか2学期も保護者、地域の皆様には、千屋っ子12名を温かく見守っていただきますとともに、ご支援、ご協力、応援をよろしく申し上げます。

<夏休みの思い出>



※サマースクール

※新見市学童水泳記録会

※児童会代表の集い

夏休みのお礼 ～プール監視・奉仕作業～

今年の夏は例年以上に猛暑日が続き、日中の屋外での活動や作業は大変でした。そのような夏休みに、保護者、地域の皆様には、子ども達や学校のために多くのご支援、ご協力をいただきました。

まず、PTAプール開放に伴う監視当番です。合計8日間、プールを開放していただきましたが、大きな事故やけがはなく、子ども達は楽しく安全に水泳を行うことができました。保護者、地域のボランティアの皆様には、ご多用の中ありがとうございました。

8月20日(日)には、PTA奉仕作業がありました。千屋野の里の皆様にもご協力を仰ぎ、学校周辺の草刈りや花壇、運動場の草取り、校舎内の窓ふきなどをしていただきました。学校がきれいになり、みんな気持ちよく2学期が迎えられます。大変失礼かと存じますが、本紙面でお礼とさせていただきます。大変ありがとうございました。



校長の論語(long)論語(long) ago!(昔むかし)

<8・9月の論語>

① 子曰く、^{しい}老者は之を安んじ、^{ろうしゃ これ やす}朋友は之を信じ、^{ほうゆう これ しん}少者は之を懐けん。^{しょうしゃ これ なつ}

・弟子の子路から「先生のお望みというのは、どういったものですか?」と尋ねられて、孔子が答えたものである。「お年寄りには安心されるようでありたい。友達からは信頼されるようでありたい。そして、自分より若い人達からは、懐かれ慕われるようでありたいものだ。」

※「朋」とは、友達・仲間のことであるが、同じ先生のもので机を並べて学んだ学友のこと。

② 子曰く、^{しい}力足らざる者は、^{ちからた}中道にして^{もの}廢す。^{ちゅうどう}今、^{はい}女は^{いま}画れり。^{なんじかぎ}

・先生が言われた。「本当に力が足りないというのは、進めるところまで進んで、もうこれ以上はどうにもならないので途中でやめることだ。しかし、お前の場合は、やってみる前から自分で自分の限界を決めてかかっている、やろうとしていないではないか。」孔子が弟子をたしなめた言葉である。

※「廢」とは、疲れ果ててやめること。「女」は汝(あなた)と同じ。「画る」とは、ここまでできないと線を引きすること。

※「クマ先生と読む論語」 森熊男著より

校長室の窓から ～新見市教育研究会～

子ども達が夏休みの期間に、学校の職員は様々な研修を受ける機会があります。8月1日(火)には、市内全教職員を対象とした「新見市教育研究会」の教育講演会があり、参加しました。

講師の先生は、岡山大学名誉教授の森熊夫先生です。森先生は、新見市哲多町の出身で哲多町在住の私からすれば先輩でもあります。中国思想の研究・教育に従事され、岡山大学教育学部教授、同学部附属小学校長、私立就実小学校長などを歴任され、現在は岡山市に住んでおられます。また、新見市が論語教育を推進する際にテキストとして全児童生徒に配付している「クマ先生とよむ論語」の著者でもあります。

講演会の演題は、「『論語』を楽しもう!」です。講演では、まず「論語」研究の流れや歴史、孔子のめざしたことなどについてお話があり、その後「論語」の魅力をもつに分けてお話いただきました。解釈の豊かさや学びの楽しさの自覚、弟子たちの輝く個性(孔子の教育力高さ)、用字法の巧みさ、真に迫る対話、話題の卑近などです。これらの魅力についてのお話からこれまでとは違った視点で論語に触れていきたいと思いました。



※「クマ先生と読む論語」

最後に「論語」を教えるということについてお話がありました。森先生は私立就実小学校長時代に、全ての学級で毎週15分ずつ論語の授業をされ、論語を学んだ児童にアンケートをとったところ、「将来、社会に役立つ人間になりたいと思う」という項目で95%の児童が「そう思う」と回答したそうです。先生は論語をとおして児童が社会を構成する一員であるとの自覚をもてるようになればよいと考えておられ、論語を学んだ児童の心の成長が嬉しかったそうです。

本校では毎月第1週の児童朝礼の際に、私が「クマ先生と読む論語」の中から2つの論語を抜粋し、子ども達に解説を入れて紹介しています。そして、各学級の朝の会で1ヶ月間、全員で唱えるようにしています。子ども達には言葉一つ一つが難しいかもしれませんが、論語に触れる中で、人間が互いに暮らしやすく、良い関係を築くための生活の知恵を学んでほしいと思っています。

9月の主な行事

- 4日(月): 放課後子ども教室(牛追い唄)
- 6日(水): 学習サポート事業
- 7日(木): 宿泊研修(5年生)～8日(金)
- 12日(火): にこにこタイム
- 15日(金): 陸上教室 定時退庁日

- 21日(木): 秋の交通安全県民運動 (~29日)
- 22日(金): 陸上教室
- 25日(月): 学校訪問
- 26日(火): 参観日 PTA講演会
- 28日(木): 移動図書館車来校 中部フィル演奏会(am)



QRコードを読み取ると千屋小HPにアクセスできます。

